

# 令和2年度 下水道事業会計決算概要

生活環境の向上や河川等公共用水域の水質保全を図るための汚水対策事業、並びに雨水の排除による浸水の防除を行う雨水対策事業を、計画的に実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

## 1. 経営成績について

営業損失 2,658,218,420円、経常利益1,913,020,212円、当年度純利益1,911,725,969円となりました。

## 2. 財政状態について

令和2年度末における財政状態は、資産の部合計237,824,247,868円、負債の部合計 174,496,334,024円、資本の部合計 63,327,913,844円となりました。

## 3. 建設改良事業について

令和2年度を初年度とする四日市市総合計画に基づき、汚水の処理区域の拡大並びに雨水の浸水対策等下水道施設の整備拡充を図りました。

- ・吉崎ポンプ場雨水ポンプ設備工事
- ・白須賀ポンプ場電気設備更新工事
- ・日永浄化センター第2系統送風機電気設備更新工事
- ・日永浄化センター第2系統終沈No.5～8 スカムスキマー更新工事 等

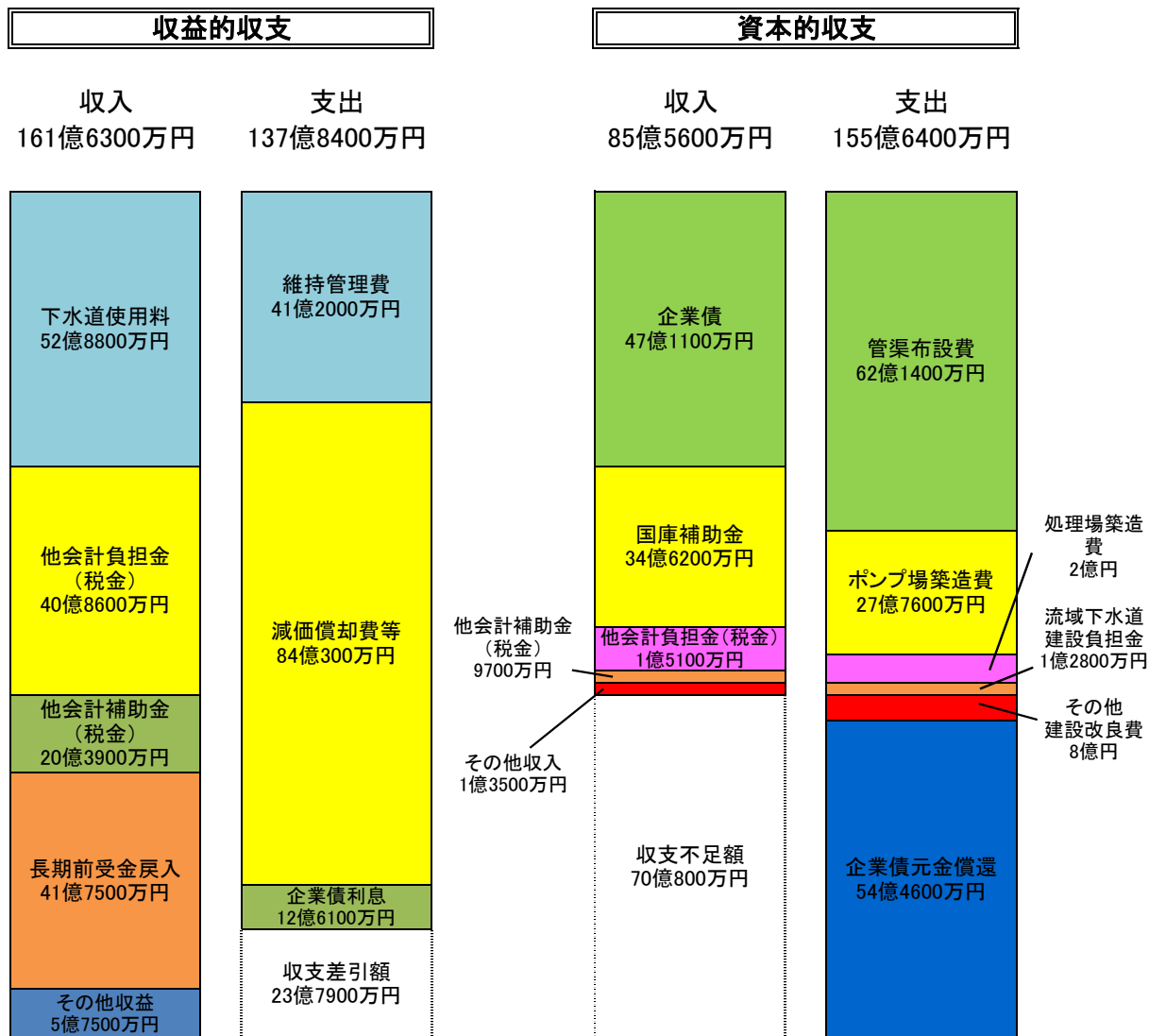
## 4. 普及状況

令和3年3月31日現在

項 目		令和2年度	令和元年度	差引増減
行政区域内人口 A	人	310,610	311,527	△ 917
処理区域面積	ha	4,783.2	4,775.1	8.1
処理区域内戸数 B	戸	114,618	112,910	1,708
処理区域内人口 C	人	248,436	246,083	2,353
水洗化戸数 D	戸	107,225	105,193	2,032
水洗化人口 E	人	232,126	228,717	3,409
人口普及率 C/A	%	80.0	79.0	1.0
水洗化普及率 D/B	%	93.5	93.2	0.3
水洗化率 E/C	%	93.4	92.9	0.5
供用1年後の水洗化率	%	94.3	93.7	0.6
有収水量	m <sup>3</sup>	25,630,410	24,920,623	709,787
雨水排水整備済面積	ha	2,916.0	2,912.0	4.0

## 5. 財政状況

※税込



### 《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、下水道を利用される皆様にご負担いただく下水道使用料が33%、雨水の排除や浸水の防除のために一般会計から受け入れる他会計負担金(税金)が25%、汚水処理の経費のうち一般会計負担となる他会計補助金(税金)が13%、施設等を建設する際に過去に受け入れた国庫補助金等の減価償却費相当分である長期前受金戻入が26%となっています。

支出 施設・設備の維持管理費30%、減価償却費等61%、企業債の利息9%という構成比になっています。

### 《資本的収支》

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金の財源です。その内訳は企業債が55%、国庫補助金等が40%、雨水処理にかかる他会計負担金(税金)が2%、汚水処理にかかる他会計補助金(税金)が1%、その他(受益者負担金等)が2%となっています。

支出 管渠、ポンプ場、処理場などの建設・改良の費用等が65%、企業債の元金償還が35%となっています。なお、収支不足額は、前年度の利益や減価償却費などで補填しています。

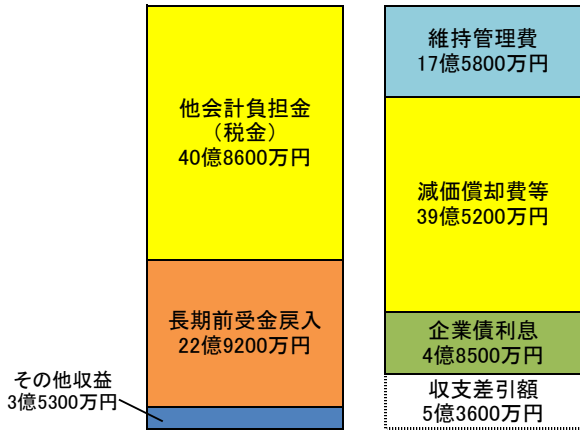
財政状況を雨水・汚水別にとすると以下の通りです。

## 雨水

※税込

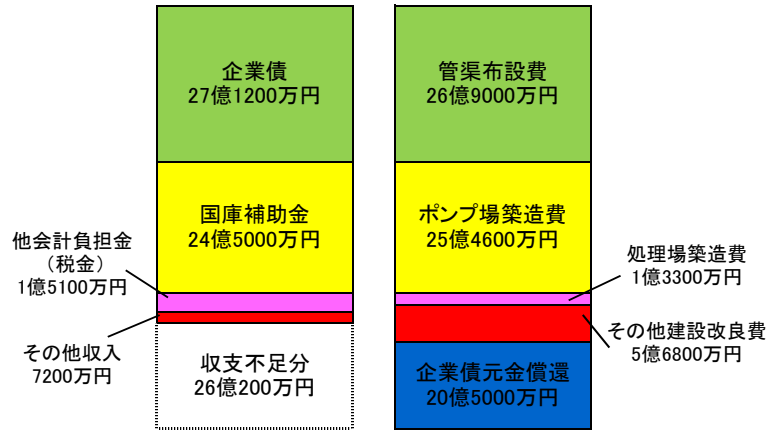
### 収益的収支

収入 67億3100万円  
支出 61億9500万円



### 資本的収支

収入 53億8500万円  
支出 79億8700万円

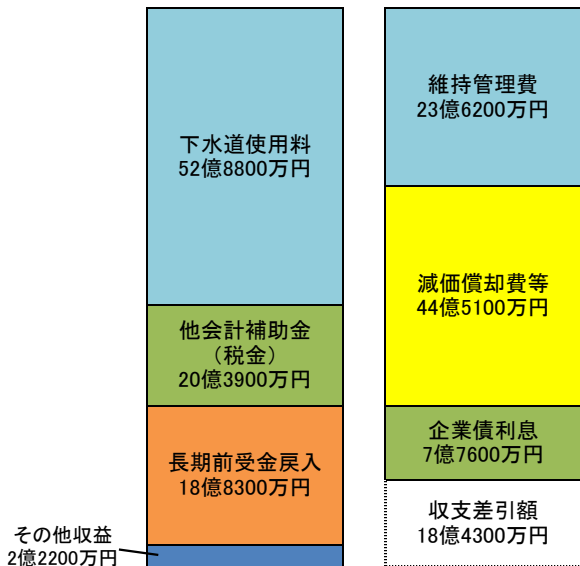


## 汚水

※税込

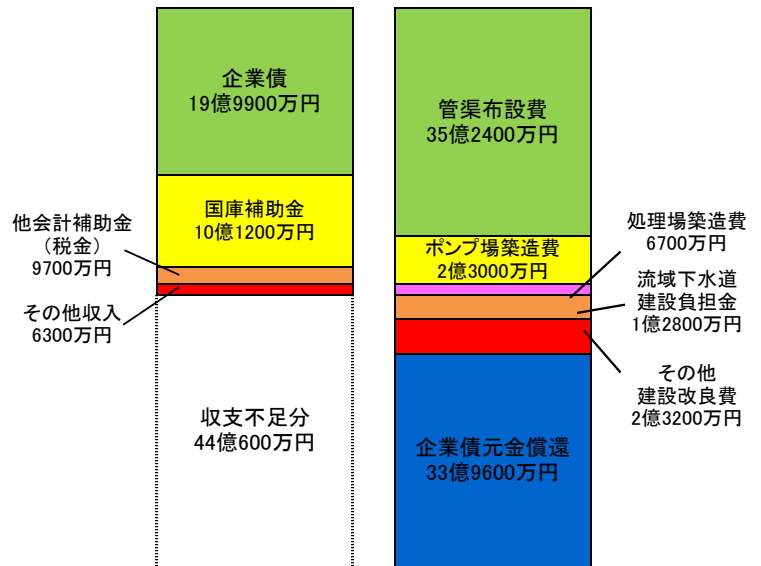
### 収益的収支

収入 94億3200万円  
支出 75億8900万円



### 資本的収支

収入 31億7100万円  
支出 75億7700万円

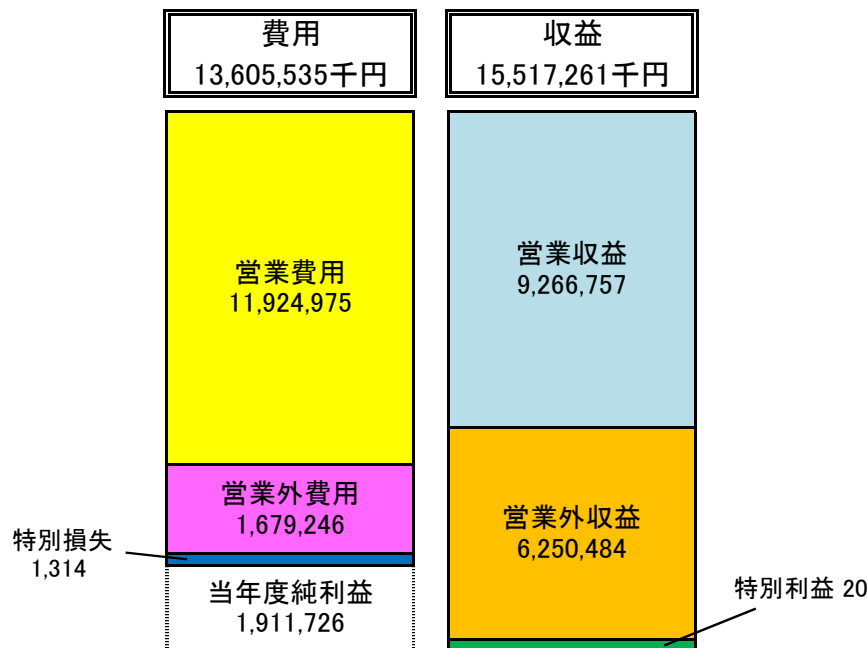


# 損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

単位:千円(税抜)

費用の部		収益の部	
営業費用	11,924,975	営業収益	9,266,757
管渠費	584,872	下水道使用料	4,806,965
ポンプ場費	798,063	負担金	4,086,040
処理場費	622,731	受託事業収益	71,098
都市下水路費	216,829	その他	302,654
業務費	896,099	営業外収益	6,250,484
総係費	255,079	他会計補助金	2,039,496
普及促進費	77,316	長期前受金戻入	4,175,126
受託費	70,730	貸倒引当金戻入額	20,877
減価償却費等	8,403,256	その他	14,985
営業外費用	1,679,246	特別利益	20
支払利息	1,261,176	過年度損益修正益	20
その他	418,070		
特別損失	1,314		
過年度損益修正損	1,229		
その他特別損失	85		
費用の部合計	13,605,535	収益の部合計	15,517,261
当年度純利益	1,911,726		
合計	15,517,261	合計	15,517,261

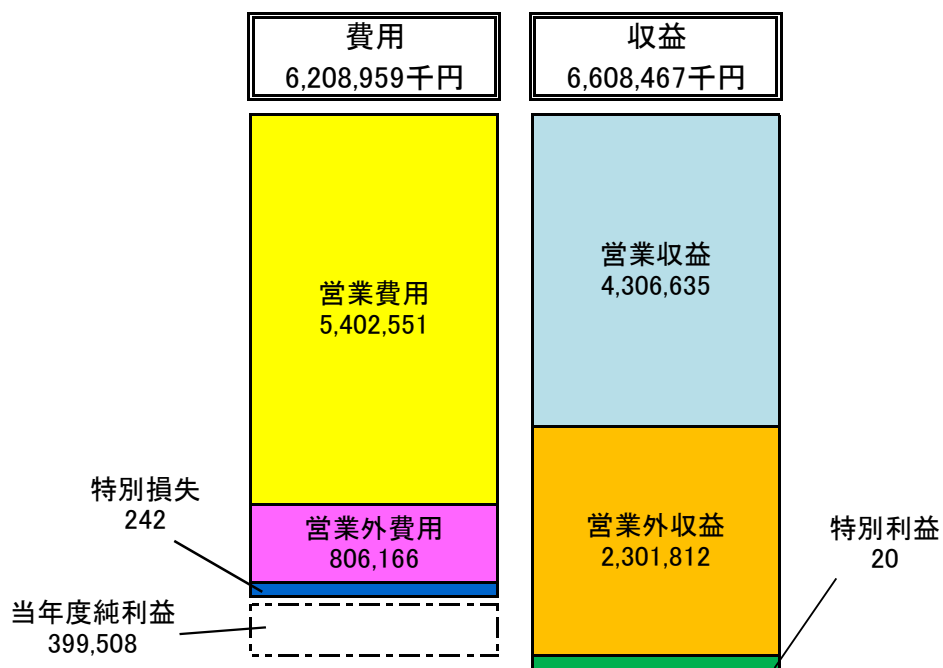


損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、当該年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

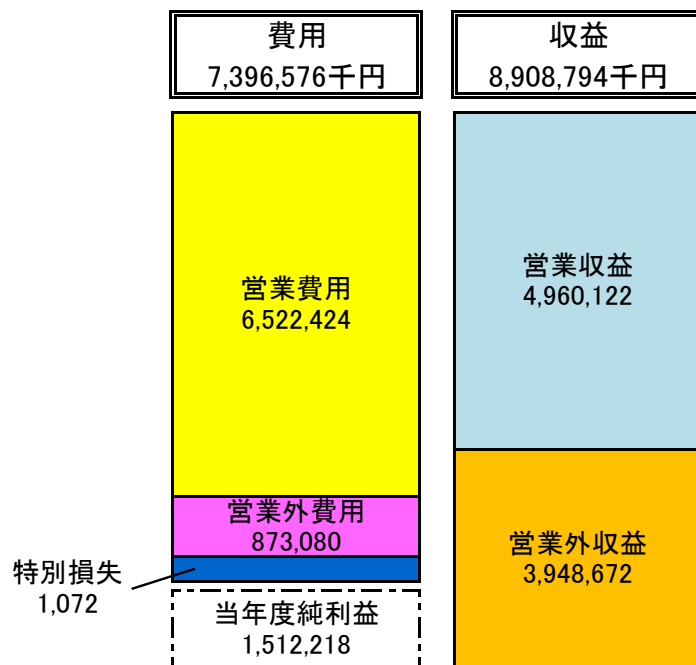
令和2年度は収益が費用を上回り、1,911,726千円の当年度純利益となりました。この利益は下水道の整備に伴い借り入れた企業債の元金償還に充てています。

損益計算書を雨水・汚水別にすると以下の通りです。

## 雨水



## 汚水

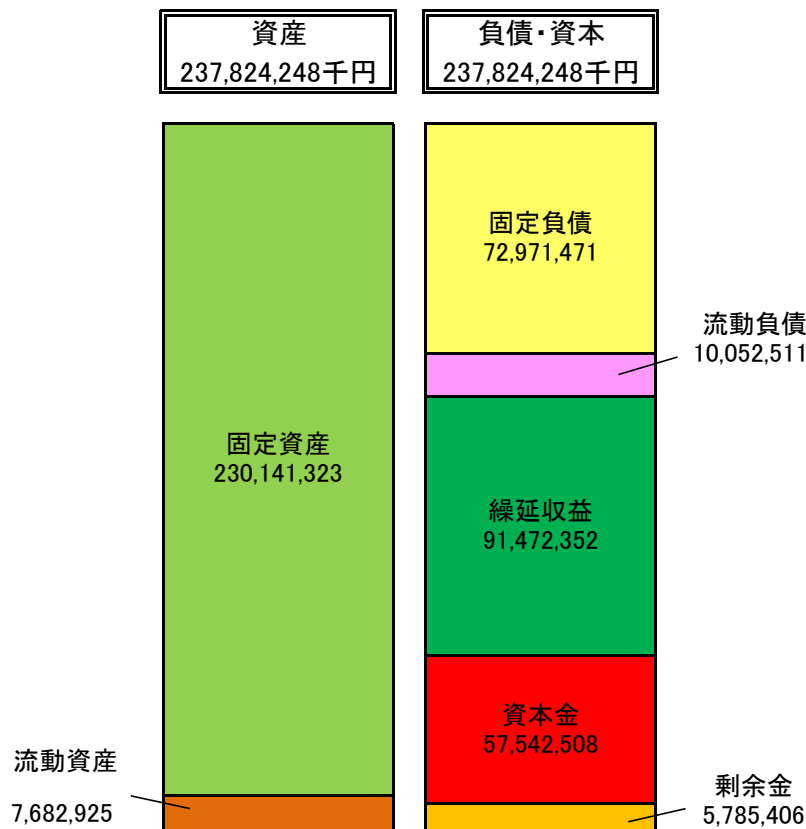


# 貸借対照表

(令和3年3月31日)

単位:千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>固定資産</b>	<b>230,141,323</b>	<b>固定負債</b>	<b>72,971,471</b>
有形固定資産	222,955,781	企業債	71,595,300
無形固定資産	7,181,528	引当金	1,376,171
投資	4,014	<b>流動負債</b>	<b>10,052,511</b>
<b>流動資産</b>	<b>7,682,925</b>	企業債	5,366,144
現金預金	5,867,929	未払金	4,596,123
未収金	985,606	引当金	52,837
前払金	829,390	その他	37,407
		<b>繰延収益</b>	<b>91,472,352</b>
		長期前受金	91,472,352
		資 本 の 部	
		<b>資本金</b>	<b>57,542,508</b>
		自己資本金	57,542,508
		<b>剰余金</b>	<b>5,785,406</b>
		資本剰余金	2,149,331
		利益剰余金	3,636,075
<b>資 産 合 計</b>	<b>237,824,248</b>	<b>合 計</b>	<b>237,824,248</b>



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和3年3月31日現在、資産（正の財産）のうち97%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。